

アパレル設計～パターンメイキング（型紙製作）： 延反・裁断作業

職務遂行のための基準

（マーキング）

- 使用する生地幅を計り、当初予定しているマーキング（型入れ）が可能かどうかを確認し、生地幅が足りない場合には、上長に状況を報告し、指示を仰いでいる。
- パターンメイキングに関する基礎的な知識を有し、生地の方角合わせなどを確実にやっている。
- 実際の生地の織りキズや汚れ、染めムラなどによって、マーキングを変更する必要があるかどうかを確認し、上長の指示を仰いでいる。
- マーキング用コンピュータの基本的な操作方法について理解して一通りの操作を行っている。
- マーキング（型入れ）忘れがないかどうか、正しい方向でマーキングされているかなど、裁断後のパーツ点数に不足が起きないように確認している。

（延反作業）

- 上長の指示に基づき、生地裏表の見分け、地の目の確認を行い、正確な延反を行っている。
- 延反中には、斜行やしわが起きないように注意しながら作業している。
- 伸びる生地の場合には、延反時に生地を引っ張りすぎないように、注意深く作業を行っている。

（裁断作業）

- 裁断機の種類についての基礎的な知識を有し、裁断する生地に応じて最適な裁断機を選択している。
- 裁断前には、延反された生地の状態を確認し、しわやズレがないことを確認している。
- 裁断機の操作は、正確に行っている。
- 必要に応じて補助具を用いたり、いったん大裁ちをしてから精密裁断をするなどの判断を、上長の指示に基づいて行っている。

（接着・サージング作業）

- 上長の指示のもと、生地・素材の特性に応じて、適正な接着条件で芯張りプレスを行っている。
- ほつれ止めが必要な生地については、自動サージング機を用いてサージングを的確に行っている。

（必要な知識）

1. 繊維の種類、特徴及び用途に関する知識
2. 織物の種類、組織、用途及び加工方法に関する知識
3. 編地及び不織布の種類及び用途
4. 安全衛生に関する知識
5. 製造工程に関する知識
6. 作業指示書に関する知識
7. マーキング方法に関する知識（配置、地の目、柄、所要量の見積）
8. 縫製の方法に関する知識

9. 製品検査に関する知識

10. アパレル用コンピュータの種類、用途及び使用方法に関する知識（パターンメイキング、グレーディング、マーキング、カッティング、グラフィック、パターンシーマー）
11. 製造に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法（延反機、裁ちほうちょう、丸刃式裁断機、縦刃式裁断機、バンドナイフ式裁断機、ダイカット、自動裁断機、その他の器工具、工業用ミシン、アイロン、バキューム台、製図用具）
12. 婦人子供既製服に関する日本工業規格に関する知識
13. 家庭用品品質表示法に関する知識